

2021年11月22日

関係各位

野村證券株式会社

## 「Russell/Nomura日本株インデックス」の年次銘柄入替について

### **Russell/Nomura Total Marketインデックスは除外154銘柄、組入れ66銘柄**

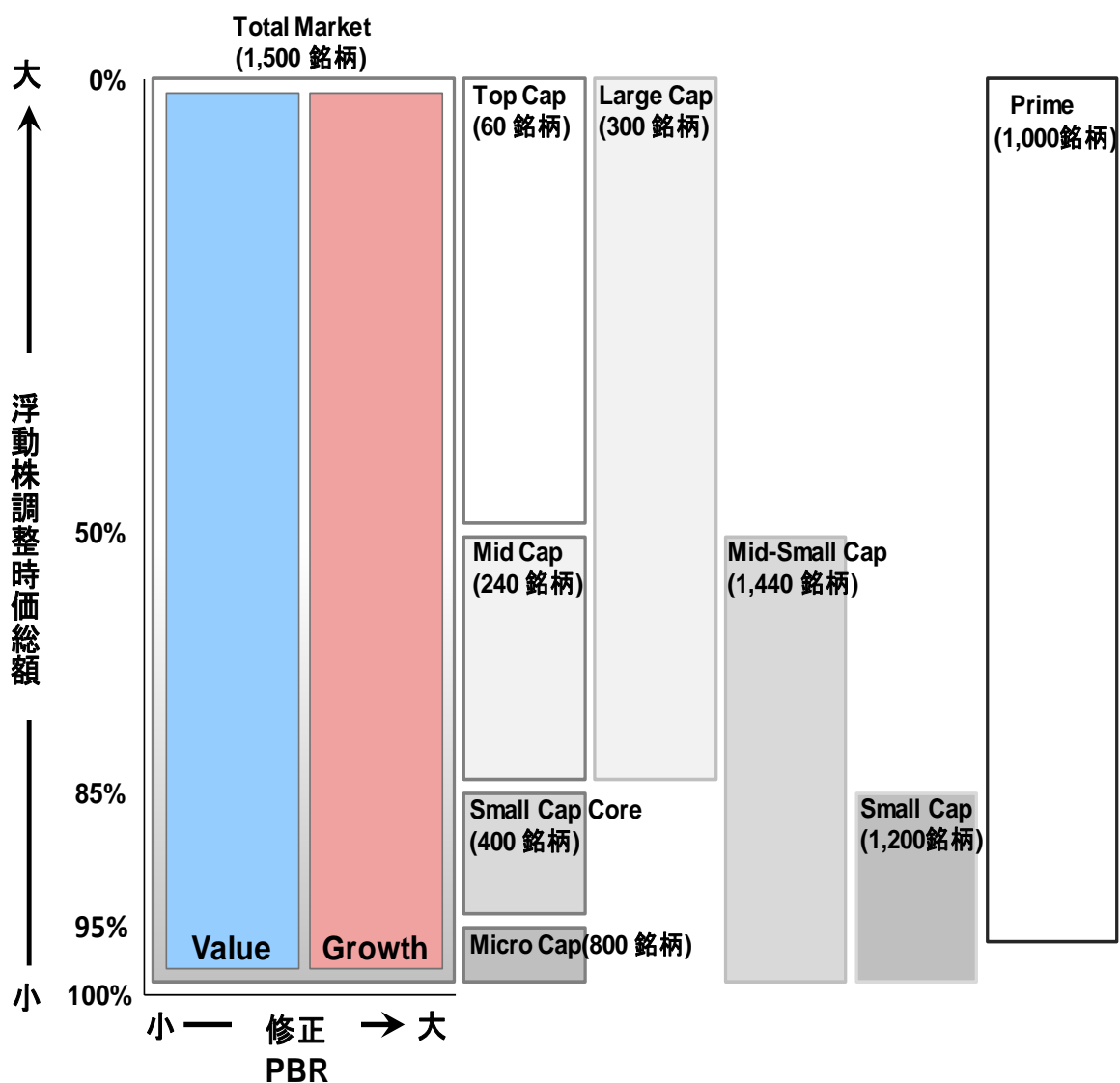
野村證券とFTSE Russellはこのたび、Russell/Nomura日本株インデックス・シリーズの定期(年次)銘柄入替を行いました。全上場銘柄の時価総額(浮動株調整済み)の98%をカバーするRussell/Nomura Total Marketインデックスの構成銘柄数は1,500銘柄となりました。構成銘柄の詳細は、野村證券金融工学研究センターのウェブサイト(<http://qr.nomura.co.jp/jp/index.html>)をご覧ください。

今回の入替でRussell/Nomura Total Marketインデックスは154銘柄が除外、66銘柄が組入れられ、入替後の構成銘柄数は1,500銘柄、時価総額は約505兆円となりました(2021年10月15日時点、時価総額は浮動株調整済み)。

スタイル別インデックスは、Russell/Nomura Large Capインデックスの定期入替後構成銘柄数が300銘柄で、前回の定期入替時より50銘柄減少しました。Large CapインデックスのサブインデックスであるTop Capインデックスは前回と変わらず60銘柄、Mid Capインデックスは50銘柄減少し240銘柄となりました。Russell/Nomura Total Marketインデックスの時価総額の下位15%で構成されるSmall CapインデックスのサブインデックスであるSmall Cap Coreインデックス、Micro Capインデックスの構成銘柄数はそれぞれ400銘柄と800銘柄になりました(図表1)。

バリュー、グロースインデックスは、Total Valueインデックスで169銘柄が除外、64銘柄を組入れ、Total Growthインデックスでは155銘柄を除外、95銘柄が組入れられました。その結果、時価総額回転率(片側)はTotal Valueインデックスが10.6%、Total Growthインデックスが11.8%となりました(図表2)。業種別の特徴としては、大型株では「情報・通信業」セクターでバリューへの比重が増加し、「化学」「電気機器」セクターではグロースへの比重が増加しました。一方、小型株では、「食料品」セクターの比重がバリュー・グロース共に増加し、反対に「サービス業」セクターの比重はバリュー・グロース共に減少しました(図表3)。

図表1 Russell/Nomura日本株インデックスの体系



注: 銘柄数は2021年11月22日定期入替後。

図表2 2021年11月定期入替サマリー

	採用銘柄数					時価構成比率			回転率 (片側)
	入替前	入替後	差	OUT	IN	入替前	入替後	差	
Total	1,588	1,500	-88	154	66	100.00%	100.00%	-	1.7%
Value	1,218	1,113	-105	169	64	53.06%	48.60%	-4.46%	10.6%
Growth	806	746	-60	155	95	46.94%	51.40%	4.46%	11.8%
Large	349	300	-49	58	9	86.64%	84.63%	-2.01%	3.7%
Value	242	194	-48	60	12	43.94%	38.80%	-5.14%	13.4%
Growth	213	195	-18	43	25	42.70%	45.83%	3.13%	12.4%
Small	1,239	1,200	-39	163	124	13.36%	15.37%	2.01%	18.7%
Value	976	919	-57	153	96	9.12%	9.80%	0.68%	18.8%
Growth	593	551	-42	150	108	4.24%	5.57%	1.33%	30.8%
Prime	992	1,000	8	28	36	97.58%	97.83%	0.25%	1.6%
Value	758	727	-31	60	29	51.44%	47.14%	-4.30%	10.4%
Growth	521	533	12	57	69	46.14%	50.69%	4.55%	11.8%

注: 採用銘柄は定期入替日時点。時価構成比率の計算は2021年10月15日の株価による。  
 回転率(片側)は  $\Sigma | \text{入替前時価比率} - \text{入替後時価比率} | / 2$  の式により算出。

図表3 Russell/Nomuraスタイル指数の業種別時価総額ウエイトの増減

	Total Value	Total Growth	Large Value	Large Growth	Small Value	Small Growth
水産・農林業	0.0%	0.0%	-	-	0.0%	-0.1%
鉱業	0.0%	-	0.1%	-	0.0%	-
建設業	0.1%	0.1%	-0.1%	0.0%	0.7%	0.5%
食料品	0.0%	0.0%	-0.4%	-0.2%	1.2%	1.8%
繊維製品	0.0%	0.0%	-0.1%	-	0.3%	0.8%
パルプ・紙	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-
化学	-1.3%	1.2%	-1.7%	1.4%	0.1%	-0.7%
医薬品	-0.2%	-0.2%	-0.6%	-0.2%	1.5%	0.1%
石油・石炭製品	0.1%	-	0.1%	-	0.1%	-
ゴム製品	0.0%	0.2%	0.0%	-	-0.1%	-
ガラス・土石製品	0.1%	0.0%	-0.3%	0.0%	1.3%	0.0%
鉄鋼	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	-0.2%	-
非鉄金属	0.1%	0.0%	0.0%	-	0.3%	0.0%
金属製品	-0.2%	0.2%	-0.3%	0.2%	0.0%	0.5%
機械	-0.1%	-0.1%	0.1%	0.0%	-1.3%	0.1%
電気機器	-2.0%	0.7%	-2.1%	1.2%	-0.9%	0.8%
輸送用機器	0.3%	0.7%	1.0%	0.7%	-1.1%	0.1%
精密機器	0.0%	-0.5%	0.0%	-0.5%	-0.3%	0.5%
その他製品	-0.1%	-0.2%	0.0%	-0.2%	-0.5%	0.2%
電気・ガス業	0.2%	0.0%	0.1%	-	0.8%	-0.2%
陸運業	0.2%	0.0%	-0.1%	-0.1%	1.9%	0.7%
海運業	-0.1%	-	0.1%	-	-0.8%	-
空運業	0.0%	-	0.0%	-	-	-
倉庫・運輸関連業	0.0%	0.0%	-	-	-0.2%	-0.1%
情報・通信業	1.0%	-1.9%	1.5%	-2.0%	-0.8%	-3.4%
卸売業	0.5%	0.1%	0.7%	-0.1%	-0.6%	1.6%
小売業	-0.2%	0.0%	-0.6%	0.0%	0.9%	-1.0%
銀行業	0.7%	-	1.0%	-	0.0%	-
証券、商品先物取引業	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	-0.3%	0.5%
保険業	0.2%	0.0%	0.4%	-	-	-0.1%
その他金融業	0.1%	-0.1%	0.1%	-0.1%	-0.3%	0.3%
不動産業	0.2%	0.0%	0.3%	0.0%	-0.3%	-0.7%
サービス業	0.1%	-0.5%	0.4%	-0.5%	-1.4%	-2.5%

注: 2021年10月15日の株価による。

赤のシャドウはウエイトが1パーセントポイント以上増加、グレーのシャドウはウエイトが1パーセントポイント以上減少したことを表す。2パーセントポイント以上の変化を強調している。

## **Russell/Nomura Primeインデックスは除外銘柄数が28銘柄、組入銘柄数が36銘柄**

Russell/Nomura Primeインデックスは、機関投資家によるパッシブ運用のベンチマークとして開発されたインデックスであり、Russell/Nomura Total Marketインデックスの時価総額上位1,000銘柄で構成されるサブインデックスです。2021年定期入替で28銘柄が除外され、36銘柄が組入れられました。定期入替後のPrimeインデックスの時価総額は約494兆円(2021年10月15日時点。時価総額は浮動株調整済み)、回転率(片側)は1.6%となりました。

今回の定期入替では26銘柄が初めてRussell/Nomura Primeインデックスに採用されました。業種別で見ると、「サービス業」のセクターが10銘柄と最も多く、続いて「情報・通信業」のセクターが3銘柄となりました。

## **Russell/Nomura 日本株インデックスについて**

1995年、野村証券とFTSE Russellは、様々な投資方針に基づいた運用を測定するツールとして「Russell/Nomura日本株インデックス」を共同開発しました。当インデックスは、日本市場の上場株式を対象にした浮動株時価総額加重方式の株価指数です。浮動株調整時価総額上位98%の銘柄で構成されるRussell/Nomura Total Marketインデックスをはじめ、投資スタイル別のサブインデックスが公表されています。当インデックスでは、株式市場の変化を反映させるため、年一回、構成銘柄の定期銘柄入替を実施しています(2021年は11月22日(11月19日引け後)に定期銘柄入替を実施)。構成銘柄は10月15日(休日の場合は前営業日)の浮動株調整時価総額によって決定されます。

定期銘柄入替後に合併・買収やその他の事由によって銘柄が除外される場合、次回の定期銘柄入替まで補充されることはなく、構成銘柄数は減少します。ただし、新規上場したLarge Cap相当の銘柄は臨時入替で組入れられます。

### **<インデックスに関するお問い合わせ>**

野村証券(株) 金融工学研究センター

インデックス業務室

E-mail: idx\_mgr@jp.nomura.com